

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
平成 29 年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
既設砂防堰堤の長寿命化に関する検討 (研究期間：H29 年度～R1 年度)	京都大学 教授 藤田正治	A
<p><研究概要></p> <p>コンクリート製砂防堰堤の多くは摩耗、ひび割れ、底抜け等の問題を抱えており、限られた予算で多数の堰堤の補強・補修を行うためには、事業の低コスト化とそれを可能にする新たな設計の考え方と工法の開発が急務である。</p> <p>本研究では、堰堤の長寿命化対策技術の確立を目指して、常願寺川流域等の施設を対象として、現行の設計基準に基づく補強・補修策の実行可能性を検討し、低コストの補強・補修策の考え方と工法を提案した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、砂防堰堤の損傷形態・ひび割れ・摩耗の経年劣化及び設計基準の変更により既存不適格となる砂防堰堤の補強・補修の課題を明らかにして、新たな安定改解析手法と、補強・補修に関する選定フローが提案されている。これにより、砂防堰堤の定期的な維持管理の指標として活用することや補修・補強コストの低減に寄与することが期待できるものである。</p> <p>今後は、具体的な補強工法の適用による検証を行い、実用化に向けて検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い